

おみくじアプリ

ver.02



STEP.1

画面UI

omikuji.html

おみくじをひく

大吉

もう一回ひく

仕様

ランダムで表示

大吉

最初は「おみくじをひく」と表示
2回目以降は「もう一回ひく」と表示

もう一回ひく

おみくじの種類

大吉

中吉

吉

末吉

小吉

凶

大凶

その他仕様

- ①JavaScriptのみで実装する
- ②ランダム数字(乱数)はMath.random()を使う
- ③画像は自分で用意したものを使っても良い



STEP.2

画面UI + API

omikuji.html

おみくじをひく

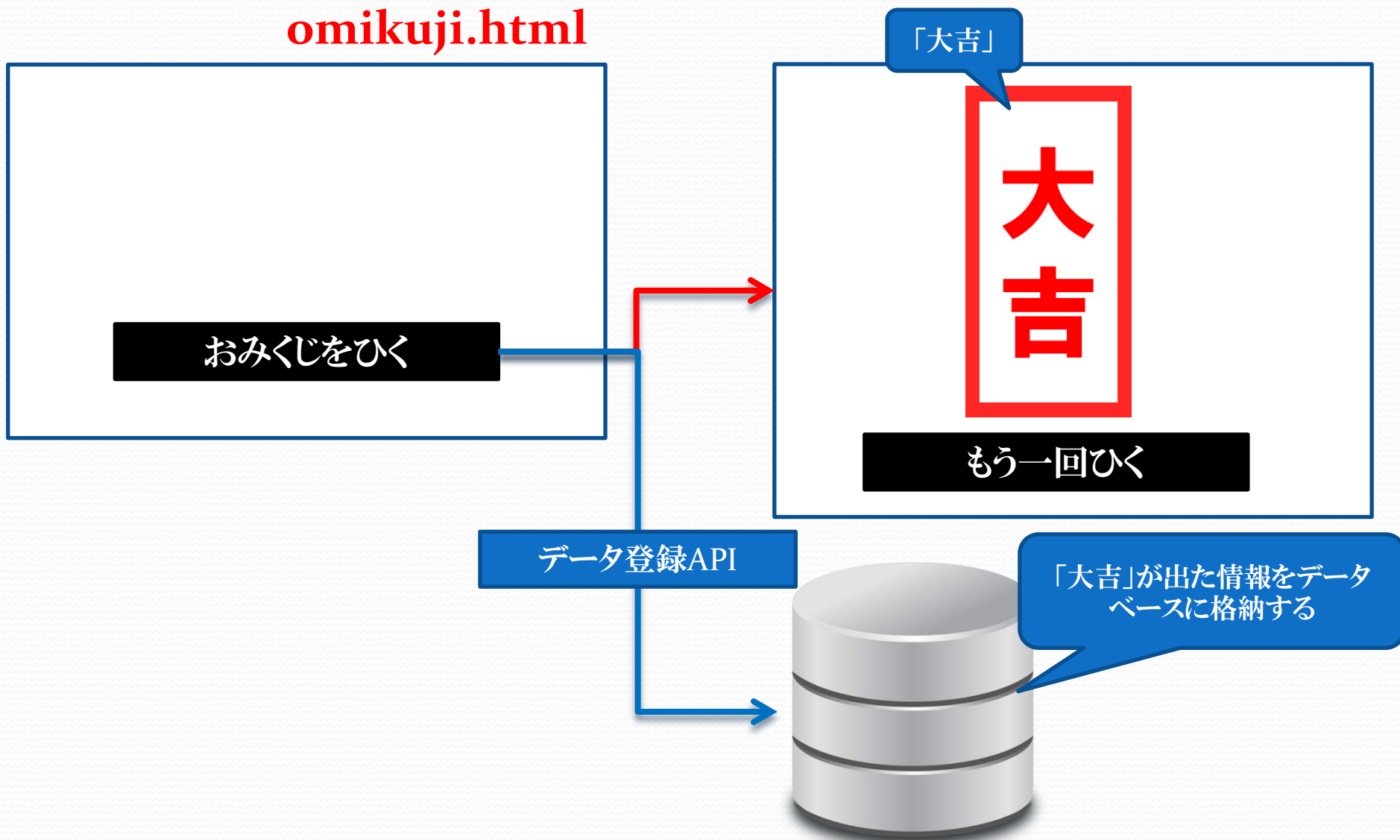
「大吉」

大吉

もう一回ひく

データ登録API

「大吉」が出た情報をデータベースに格納する



追加仕様

- ①ボタンを押してランダムで結果が出るが、その結果をDBに保持する
- ②テーブルの仕様は次のページ
- ③DBへの登録はAPIを使用する
- ④APIの捜査はjQueryのAjaxを使用する

テーブル定義

テーブル名：omikuji

フィールド名	型		用途
id	int(11)	NOT NULL	ユニークkey 自動採番(AI)
name	varchar(255)	NOT NULL	大吉とか大凶とか
created	datetime	NOT NULL	登録日時



STEP.3

画面UI

omikuji.html

おみくじをひく

追加

過去履歴

大吉 2021/12/20 10:53:54
中吉 2021/12/20 10:52:15
大凶 2021/12/20 10:51:38
大吉 2021/12/20 10:51:09



データ表示API

追加仕様

- ①おみくじボタンの下に過去に引いたおみくじの履歴をAPIを使って表示する
- ②履歴は降順(新しい順)とする
- ③対象のテーブルはSTEP₂で作成したomikujiテーブルとする
- ④初期画面表示時に見えているようにしたい
- ⑤おみくじボタンを押下した時、新しいデータが入るようにしたい



STEP.4

画面UI

omikuji.html



データ表示API

おみくじをひく

過去履歴

大吉 2021/12/20 10:53:54
中吉 2021/12/20 10:52:15
大凶 2021/12/20 10:51:38
大吉 2021/12/20 10:51:09

総計

大吉 15
中吉 14
小吉 16
末吉 21
吉 5

追加



追加仕様

- ①STEP₃で表示した「過去履歴」の横に総計を表示する
- ②APIを使って表示する
- ③APIは新規で作成しても良いし、STEP₃で作成したものを改修しても良い
- ④初期画面表示時に見えているようにしたい
- ⑤おみくじボタンを押下した時、新しいデータが入るようにしたい